

IV 事業概要

3 社会教育事業

【1 生涯学習に関すること】

(9) 白川英樹博士特別実験教室「導電性プラスチックで二次電池を作ろう」(平成30年度)

- (ア) 期 間 平成30年12月1日(土)
- (イ) 会 場 仙台市科学館 2階 第4実験室(化学実験室)
- (ウ) 主 催 スリーエム仙台市科学館
- (エ) 協 賛 旭化成株式会社
- (オ) 協 力 全国科学館連携協議会
- (カ) 内 容

ノーベル賞化学者である白川英樹博士と日本科学未来館が開発した導電性プラスチックの合成と応用に関する実験教室を昨年度に続き仙台市科学館で実施した。この実験教室は、以下の①～③を目的として実施した。

- ① 地域の子供も達が特別実験教室に参加し挑戦する機会を提供すること。
- ② 科学館が、地域の様々な機関の中軸となり、先端科学・技術をテーマとした実験教室に挑戦する機会とするとともに、当該テーマの内容と方法などを継続的に科学館で利用・実施していくこと。
- ③ 地域の小中学校の先生方にも実験指導補助者となっただき、先生方への刺激となること。

今年度は、仙台市科学館と次年度採用予定の教員で実施した。

<実験教室の実施内容>

- ・講 話…導電性プラスチックの紹介
- ・実験①…プラスチック膜をつくる
- ・実験②…二次電池をつくる
- ・実験③…自由実験(自分で工夫して研究者体験)・研究成果の発表
- ・まとめ

- (キ) 参加者総数 11名



白川英樹博士特別実験教室(平成30年度)での様子